

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹中央防災公園・元気創造プラザ									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	2	3
事業所等の所在地	〒181-0004 区市町村名 東京都三鷹市									
町名番地下	新川6-37-1									
事業所等の延床面積	23,677.31		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		■ 1年度分 □ 1年未満			
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有									
報告範囲	■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 ■ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		□ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=③×0.0258)	①	122	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	236	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	19	t
総計(④=②+③)	④	255	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	9.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ⑤=④×1000×⑥	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑦	排出量 ^{※1} (t) ⑧=⑦×⑥×44/12
都市ガス	□	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
その他(A重油)	□	L	0.0	39.10	0.0	0.019	0.0
その他()	□		0.0				
その他()	□		0.0				
その他()	□		0.0				
電気	□	kWh	388,045.0	9.97	3,868.8	0.489	189.8
一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	□	kWh	95,238.0	9.28	883.8	0.489	46.6
その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}	□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計					4,752.6		236.3
水道及び工業用水道	□	m ³	28,583.0			0.251	7.2
公共下水道	□	m ³	28,583.0			0.439	12.5
合計							19.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑧=(⑦/1,000)×⑥とする。

※2 ⑥=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑥=⑥/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑥=(⑥/1,000)×⑥とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
省エネルギー対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
	C109	空室・不在時等の空調停止		
	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯		
	C508	空室・不在時等の空調停止		
設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
	D104	空調フィルターの清掃・点検		
設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無
目標値等(選択)	ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) % CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量) t その他 特記事項に内容を記載

6 特記事項

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市北野ハビネスセンター									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	0	1
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	0	3	区市町村名 東京都三鷹市
町名番地下	北野1-9-29									
事業所等の延床面積	2,361.18		m ²		事業所等の実測年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0268)	①	39	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	76	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0	t
総計(④=②+③)	④	76	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	32.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量	
						排出係数	排出量 ^{※1} (t)
都市ガス	☐	Nm ³	7,371.7	45.00	331.7	0.014	16.5
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
電気	一般送電事業者の電圧を介して供給された電気	kWh	99,561.0	9.97	992.6	0.489	48.7
	夜間(8時～22時)	kWh	23,248.0	9.28	215.7	0.489	11.4
	夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計					1,540.1		76.6
水道及び工業用水道	☐	m ³	1,042.0			0.251	0.3
公共下水道	☐	m ³	1,042.0			0.439	0.5
合計							0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑥=(⑤/1,000)×⑨とする。

※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑨=⑩/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑩=(⑩/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計	
			A207	排出状況の整理・分析・提供	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C508	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
				C513	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C519	季節に応じた温度設定の見直し
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E107	蛍光灯へ電子安定器採用(屋外)	
	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)	

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

【目標】

1. 本事業所で昨年比約0.1%電気の使用料を削減する。
2. 本事業所で昨年比約0.1%ガスの使用料を削減する。
3. 本事業所で昨年比約0.1%水の使用料を削減する。
4. 本事業所で昨年比約0.1%ガソリンの使用料を削減する。

【対策】

1. 事業所の照明を必要に応じて引き消灯する。
2. 空室・不在時の照明、空調を切る。
3. ウォッシュレット式便座の電源をこまめに切る。
4. 水道の使用後は必ずせんとを閉める。

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市牟礼老人保健施設はなかいどう・三鷹市社会福祉事業団									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	0	2
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	0	2	区市町村名 東京都三鷹市
事業所等の延床面積	3,848.76		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	2	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=②×0.0258)	②	223	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=③)	③	435	t
二酸化炭素 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=④)	④	9	t
総計(④=②+③)	④	444	t
二酸化炭素 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの排出原単位(⑤=④×1000/事業所等の延床面積)	⑤	113.0	kg・CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量	
						排出係数	排出量 ^{※1} (t)
都市ガス	☐	Nm ³	84,309.7	45.00	3,793.9	0.014	189.2
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
電気	☒	kWh	297,965.0	9.97	2,970.7	0.489	145.7
一般送配電事業者の電圧を介して供給された電気	☐	kWh	206,370.0	9.28	1,915.1	0.489	100.9
その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計					8,679.8		435.8
水道及び工業用水道	☐	m ³	13,828.0			0.251	3.5
公共下水道	☐	m ³	13,828.0			0.489	6.1
合計							9.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑤=(③/1,000)×⑥とする。

※2 ⑥=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑦=⑥/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑧=(⑦/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用入感センサの採用
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
		E123	トップランナー機器の採用	E108	高効率照明器具の採用(屋外)
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無
目標値等(選択)	ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) % CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg・CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量) t その他 特記事項に内容を記載

6 特記事項

平成30年度の対策について(予定を含む)
 ・室内照明を順次高効率照明器具に更新する。
 ・保温便座は夏期は必要とする(利用者)箇所以外はスイッチを切る。
 ・厨房給湯器を従前より高効率のものに更新する。
 ・冷温水発生機の部品交換等修繕を順次進め、燃費の低下を防ぐ。
 ・冷暖が激しくない時期は、冷温水発生機の運転を「節約運転」モードにする。
 ・地下駐車場・更衣室等の利用者サービスに直接影響がない空間は、必要最低限の照明点灯とする。
 ・水道・電気・ガスの使用量を毎月記録し、前年等と比較する。

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市高齢者センター けやき苑									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	0	6
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	1	6	区市町村名 東京都三鷹市
町名番地	深大寺2-29-13									
事業所等の延床面積	1,343.70		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	3	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=②×0.0258)	②	57	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=③)	③	112	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(④=⑤)	④	1	t
総計(⑥=③+④)	⑥	113	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑦=⑥×1000/事業所等の延床面積)	⑦	83.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量	
						排出係数	排出量 ^{※1} (t)
都市ガス	☐	Nm ³	8,606.1	45.00	387.3	0.014	19.3
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
電気	昼間(8時~22時)	kWh	131,614.0	9.97	1,312.2	0.489	64.4
	夜間(22時~翌日8時)	kWh	58,102.0	9.28	539.2	0.489	28.4
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
	規則第6条の17第3項の場合のみ値 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合 計					2,238.7		112.1
その他	水道及び工業用水道	m ³	2,402.0			0.251	0.6
	公共下水道	m ³	2,402.0			0.439	1.1
合 計							1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑦=(③/1,000)×⑧とする。

※2 ⑧=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑨=(⑧/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑩=(⑨/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組 織 体 制 の 整 備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
エ ネ ル ギ ー 等 の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネ エネルギー 対策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C516	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C510	その他設備の不使用时の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止		
	設 備 保 守 対 策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D107	ボイラ等の空気比の調整
設 備 導 入 対 策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)			

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t	
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

平成30年度の節電対策について(予定を含む)

- ・空き室の消灯
- ・使用していないコンセントを抜く
- ・冷房の室温設定
- ・ゴーヤ、朝顔等によるグリーンカーテンの実施
- ・よしず、すだれの活用
- ・打ち水・施設内の照明を、順次LEDに移行している。

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市高齢者センターどんぐり山									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	0	7
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	1	5	区市町村名 東京都三鷹市
事業所等の延床面積	1,692.16	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		■ 1年度分		□ 1年未満			
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有									
報告範囲	□ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) ■ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 ■ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	3	連鎖化事業区分		□ 直営店 □ 加盟店		■ 非該当	
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	④	70	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	⑤	138	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	⑥	2	t
総計(④+⑥)	⑦	140	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑧=②×1000/事業所等の延床面積)	⑧	81.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量	
						排出係数	排出量 ^{※1} (t)
都市ガス	■	Nm ³	13,316.4	45.00	599.2	0.014	29.9
その他()	□		0.0				
その他()	□		0.0				
その他()	□		0.0				
その他()	□		0.0				
電気	■	kWh	122,533.1	9.97	1,221.7	0.489	59.9
一般送配電事業者の電圧降下を介して供給された電気	■	kWh	99,028.2	9.28	919.0	0.489	48.4
その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}	■	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計					2,739.9		138.2
水道及び工業用水道	■	m ³	3,679.0			0.251	0.9
公共下水道	■	m ³	3,679.0			0.439	1.6
合計							2.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑧=(③/1,000)×⑨とする。

※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑪=(⑩/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑫=(⑩/1,000)×⑩とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備
	A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	A215	優良事例の組織内共有体制の構築
	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
	C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
	C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
			C123	湿度の適正管理
			C115	事務用機器を業務終了時に停止
			C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
			C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
			C129	季節に応じた温度設定の見直し
設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	D106	ボイラ等の定期点検の実施	D107	ボイラ等の空気の調整
設備導入対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
			E105	照明用入感センサの採用
			E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
			E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無
目標値等(選択)	ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) %
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量) t
	その他 特記事項に内容を記載

6 特記事項

平成30年度の節電対策について
 ・職員会議やケア会議において、冷房温度28℃の室温調節を呼びかけ、徹底を図る。
 ・電気使用量代金の前半同月比を職場に掲示して節電意識の向上に繋げる。(ガス、水道も同様に提示し、資源の節約に努めている。)
 ・夜間の会議設定を極力しないで、昼間に行う。
 ・エレベーターは職員使用禁止
 ・玄関自動ドアは、デイスサービス送迎時以外は電源を切る。
 ・施設内蛍光灯を開閉して、一部抜いていることで必要最小限の照度になっている。

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	中央保育園									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	2	1
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	1	2	区市町村名 東京都三鷹市
事業所等の延床面積	1,143.65		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		■ 1年度分 □ 1年未満			
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有									
報告範囲	□ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) ■ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 ■ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		□ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0268)	④	32	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	⑤	63	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	⑥	1	t
総計(②+③)	⑦	64	t
二酸化炭素排出量 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑧=②×1000/事業所等の延床面積)	⑧	55.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ④	係数 ⑤	熱量 (GJ) ⑥=④×1000×⑤	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑦	排出量 ^{※1} (t) ⑧=④×⑦×44/12
都市ガス	□	Nm ³	6,027.1	45.00	271.2	0.014	13.5
その他()	□		0.0				
その他()	□		0.0				
その他()	□		0.0				
その他()	□		0.0				
電気	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	101,361.0	9.76	989.3	0.489	49.6
規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}	□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計					1,260.5		63.1
水道及び工業用水道	□	m ³	2,718.0			0.251	0.7
公共下水道	□	m ³	2,718.0			0.439	1.2
合計							1.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑧=⑥/1,000×⑧とする。

※2 ⑧=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑨=⑧/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑩=⑨/1,000×⑩とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計	
			A207	排出状況の整理・分析・提供	
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C113	中間期における外気冷房の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
	設備保守対策			C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検	
	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検	
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E107	蛍光灯へ電子安定器採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無
目標値等(選択)	ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) %
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量) t
	その他 特記事項に内容を記載

6 特記事項

平成29年度の節電対策について
園舎の壁面にゴーヤのグリーンカーテンをつくり、暑さ対策をした。

対策メニュー(運用対策)追加事項:C106,C107,C502,C506,C513,C516

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新川保育園											
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	1	5		
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	0	4	区市町村名	東京都三鷹市	
町名番地以下	新川5-7-2											
事業所等の延床面積	633.00			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	④	30	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	⑤	59	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	⑥	1	t
総計(④+⑤+⑥)	⑦	60	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの排出原単位(⑧=⑦×1000/事業所等の延床面積)	⑧	93.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量	
						排出係数	排出量 ^{※1} (t)
都市ガス	☐	Nm ³	11,332.1	45.00	509.9	0.014	25.4
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
電気		kWh					
一般送配電事業者の電線を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	☐	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
	夜間(22時~翌日8時)	☐	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	69,645.0	9.76	679.7	0.489	34.1
規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計					1,189.7		59.5
水道及び工業用水道	☐	m ³	2,266.0			0.251	0.6
公共下水道	☐	m ³	2,266.0			0.439	1.0
合計							1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑧=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑨=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑩=⑨/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。の)の係数×1,000 ⑪=(⑩/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	A207	排出状況の整理・分析・提供
			B104	設備ごとに詳細に把握
			B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策			B107	主要設備の使用状況の把握
	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
	C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
	C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
	C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
			C123	室温の適正管理
			C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
			C132	開け放し開口部面積の縮小
			C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

園舎の壁面にゴーヤのグリーンカーテンを作り暑さ対策をした。
 対策メニュー(運用対策)特記事項C502,C507,C513,C516,C524,エネルギー等の使用状況の把握追加事項B108

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東部水再生センター（東部ポンプ室含む）									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	1	7
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	0	4	区市町村名 東京都三鷹市
事業所等の延床面積	3,586.93		m ²		事業所等の実積年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部（テナント） ☐ 建物の一部（その他）									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設（物販） ☐ 商業施設（飲食） ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本環境産業分類における細分類番号	8	6	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	1,120	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	2,188	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0	t
総計(④=②+③)	④	2,188	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	609.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑥	熱量 (GJ) ⑦=⑤/1000×⑧	二酸化炭素排出量		
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑤×⑨×⑪/12	
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)	☐	kg	386.3	50.80	17.1	0.016	1.0	
	その他(A重油)	☐	L	0.0	39.10	0.0	0.019	0.0	
	その他()	☐		0.0					
	その他()	☐		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	2,739,786.0	9.97	27,315.7	0.489	1,339.8
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	1,733,341.0	9.28	16,085.4	0.489	847.6
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
	規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合 計						43,418.2		2,188.4	
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,119.0			0.251	0.3	
	公共下水道	☐	m ³	1,119.0			0.439	0.5	
合 計								0.8	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑤/1,000)×⑩とする。

※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑩=⑩/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑩=(⑩/1,000)×⑩とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策		
		対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
		A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備	
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
				B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
			C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
			C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
			C901	4S(整理・整頓等)の実施	C115	事務用機器を業務終了時に停止
			C904	運転方法ルール化と不使用時停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
			C925	水道メータ等で漏水の有無の点検	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
					C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
					C908	受電効率の把握・記録
					C909	契約電力の変更の検討
	設備保守対策		D204	空調フィルターの清掃・点検	D202	セントラル空調のフィルター清掃
			D206	動力伝達部の定期的な点検	D205	換気フィルターの清掃・点検
			D209	空気系統のエア漏れ補修	D208	ストレーナやフィルターの清掃
					D216	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策		E201	高効率照明ランプの採用(屋内)	E205	照明用入感センサの採用
			E203	高効率照明器具の採用(屋内)	E209	空調の冷温水配管の保温の実施
					E211	ポンプ・ファン等のインバータ制御
				E231	インバータ制御の導入	

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無
目標値等(選択)	ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) %
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量) t
	その他 特記事項に内容を記載

6 特記事項

①脱水機設備、平日2台運転から1台運転に変更(不足分は土日に運転)
 ②エアレーションポンプの回転数制御
 ③空調設備及び照明機器の運転時間見直し

対策メニュー追加項目: C117, D201

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	井の頭ポンプ場									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	1	0
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	0	1	区市町村名 東京都三鷹市
町名番地以下	井の頭1-4-39									
事業所等の延床面積	1,000.06		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		■ 1年度分 □ 1年未満			
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有									
報告範囲	■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 ■ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	3	6	3	1	連鎖化事業区分		□ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	④	95	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	④	187	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	④	0	t
総計(①+②+③)	④	187	t
二酸化炭素排出量 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑦=②×1000/事業所等の延床面積)	④	186.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑤/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑤×⑨×44/12
都市ガス	□	Nm ³	70.6	45.00	3.2	0.014	0.2
その他()	□		0.0				
その他()	□		0.0				
その他()	□		0.0				
その他()	□		0.0				
電気	□	kWh	235,573.0	9.97	2,348.7	0.489	115.2
一般送配電事業者の電線を介して供給された電気	□	kWh	146,797.0	9.28	1,362.3	0.489	71.8
その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}	□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合 計					3,714.1		187.1
水道及び工業用水道	□	m ³	585.0			0.251	0.1
公共下水道	□	m ³	585.0			0.439	0.3
合 計							0.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑤/1,000)×⑩とする。

※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑩=(⑩/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑩=(⑩/1,000)×⑩とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策		
		対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
		A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備	
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
				B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー対策	運用対策		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
			C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
			C114	事務用機器を省エネモードに設定	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
			C901	4S(整理・整頓等)の実施	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
			C925	水道メータ等で漏水の有無の点検	C908	受電率の把握・記録
					C929	ポンプの送水圧等の把握
					C930	ポンプの送水圧力・流量の適正化
					C927	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策			C928	その他設備の効率的な使用法表示	
			D204	空調フィルターの清掃・点検	D201	ランプ等の定期的な清掃・交換
					D205	換気フィルターの清掃・点検
					D215	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備導入対策				D216	その他設備の定期的な保守・点検
			E201	高効率照明ランプの採用(屋内)	E231	インバータ制御の導入
			E203	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t	
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

①水中攪拌機運転時間削減
②自動除塵機運転回数削減
③夜間電力を利用してのポンプ井水位調整
④空調設備及び照明機器の使用頻度見直し

(日本工業規格A列4番)